

令和7年度 第1回墨田区行財政改革推進会議 議事要旨

開催日時：令和7年8月1日（金） 午後5時00分～午後6時30分

開催場所：墨田区役所7階 庁議室

出席者：委員3人（倉阪秀史、平山敏弘、近藤弘忠）

区側出席者8人（小倉孝弘（企画経営室長）、岐部靖文（企画経営室参事）、松本輝之（ICT推進担当課長）、事務局4人）

会議の公開：公開（傍聴者なし）

- 議事内容：
- 1 開会
 - 2 区長挨拶及び委嘱状交付
 - 3 委員紹介
 - 4 区側出席者紹介
 - 5 会長及び副会長の選任
 - 6 委員会の公開（傍聴）と議事録について
 - 7 墨田区を取り巻く社会経済状況と今後の行財政運営のあり方について
 - (1) 墨田区の現況について
 - (2) 今計画期間における取組状況について
 - (3) 山積する行政課題と今後の行政運営方針について
 - 8 意見交換
 - 9 次回会議開催についての案内
 - 10 閉会

議事要旨

7 墨田区を取り巻く社会経済状況と今後の行財政運営のあり方について

- (1) 墨田区の現況について
- (2) 今計画期間における取組状況について
- (3) 山積する行政課題と今後の行政運営方針について

上記について事務局から説明後、意見交換を行った。意見要旨は以下の通り。

- 不断の取組＋重点取組に分けて考えており、重点取組は都庁で言うリーダーシッププロジェクトだと思う。ボトムアップ（現場の取組）とトップダウン（先行事例）とに分けて考えるのは良いと思う。
- 現計画の取組状況は公表しているか？区民からすると「何が向上したか」が知りたいのではないかと。計画として、区民の方に見せた場合に区民生活がどう変わるか、その視点で体系立てられると良い。また、「課題への対応の視点」と施策が紐づくると良い。
- 課題の整理に奥行き感があると良い。課題を中長期的・短期的に仕分け、例えば短期的な施策であっても、全体として区民にリターンが来るという視点が必要。中長期的な課題についても、今から対策をすることで、より少ないリソースで大きなベネフィット

トを与えることが大事。

- 区民等へのわかりやすさも大事。共通認識が持てるよう、具体的な表現を用いて解像度を上げる必要がある。例えば、具体的な姿として「持続可能な状態」とはどういうことかがわかりやすく表現できると良い。
- UX(ユーザーエクスペリエンス)のうち、EX(エンプロイヤー=職員)がないと動いていかない。EXの向上が、CX(カスタマー=区民)の向上に資するということを重視した方が良いのではないか。
- 職員の意識を高めるのであれば、人事評価における一定の成果報酬等が必要ではないか。そういったものがないとモチベーション向上につながりにくいのでは。
- DX化にあたっては守りのIT投資と攻めのIT投資がある。攻めのIT投資だけでなく守りのITのバランスが大事ではないか。